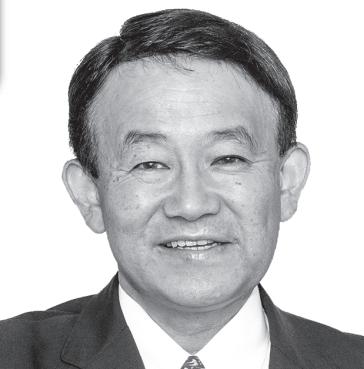


# 「雄志」59号

衆議院議員

谷川はじめ



相模原市長選挙に立候補する本村賢太郎衆院議員が、3月7日に辞職したことに伴い、13日に衆院比例南関東ブロックの選挙会が開催され、私谷田川はじめの繰り上げ当選が決定しました。これを受け、翌14日に総務省にて当選証書が付与され、その足で初登院。平成24年12月に議席を失つて以来、6年3ヶ月ぶりの国政復帰となりました。私が繰り上げ当選となつた経緯については2ページに詳しく述べましたのでそちらをご覧下さい。

所属政党は国民民主党です。昨年5月に希望の党と民進党が合流してできた新しい政党です。代表は玉木雄一郎衆院議員（香川2区選出）で、私と同じ平成21年初当選組です。玉木氏は平成17年の初出馬の時は落選したものの、その後4回連続で小選挙区で当選しており、また昨年9月に実施された国民民主党としての初めてとなる代表選でも圧勝するなど選挙に強い政治家として知られています。代表選当選直後の挨拶でも「私は選挙の鬼だと思つてゐる。代表の一番の使命は、選挙で一人でも多くの人を当選させて、仲間を増やすことだ」と語るなど、彼

が国民党代表として初めて臨む次期国政選挙（今夏の参院選もしくは衆参ダブル選挙）に並々ならぬ闘志を燃やしているのがよく分かります。私も玉木代表の思いをしつかり共有し、選挙に向けた地元活動を一生懸命に取り組んでいく所存です。

**繰り上げ当選により  
国政復帰を果たしました**

国民民主党千葉県第10区総支部

谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2  
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991  
Mail:info@hajim-yatagawa.com

国会事務所

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館 1208号室  
TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

さて、私が議席を失つていた期間は、ちょうど第2次安倍政権が発足し継続している時期と重なります。この間、景気回復の恩恵を受けた人は、大企業や富裕層といったごく一部であり、大多数はそれを実感できていないのが実情です。

当千葉10区の状況を見ても、人口減少がじわじわと進み、地方経済は衰退し始め、「地方創生」どころか「地方草生」になりかねない状況です。これを打開するためにも「少子化」に歯止めをかける政策を大胆に打ち出して参ります。また成田空港の機能強化（第3滑走路の整備等）を核とした地域振興策、特に当地域への観光客誘致にも大いに衆志を集め、果敢に行動する所存です。皆様の忌憚のないご意見をお寄せ下さい。全力で議員活動に邁進します。

改めて、これまでのご支援に深く感謝申し上げるとともに今後ともご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ、巻頭の挨拶と致します。



総務省で当選証書を付与される

谷川はじめ

平成三十一年三月

## 前回衆院選挙(平成29年10月22日実施) の結果

### 千葉県第10選挙区

候補者 (党)	谷田川 元 (希望の党)	林 幹雄 (自民党)	笠原 正実 (共産党)	投票率 (%)			
市町村名	得票数	対前回増減	得票数				
銚子市	8,139	△157	13,420	△1,548	2,071	△599	44.59
成田市	17,612	1,417	25,564	△1,110	4,902	147	46.40
旭市	9,884	△249	13,635	△1,613	1,486	△240	46.01
匝瑳市	5,833	450	8,203	131	1,044	△64	48.67
香取市	15,340	△2,789	15,532	△4,124	2,013	△438	49.86
神崎町	1,230	130	1,528	△93	236	7	57.05
多古町	2,840	125	3,759	△116	401	△26	55.83
東庄町	2,069	341	4,522	△741	278	△23	57.09
横芝光町(旧光町)	2,309	179	2,235	△171	327	△55	54.29
10区計	65,256	△553	88,398	△9,385	12,758	△1,291	47.99

平成26年の選挙は、香取市議会議員選挙と同日でした。それ故、平成29年の選挙では全候補とも香取市で大幅に得票を減らしています。谷田川はじめは、前回より成田市で1,417票、匝瑳市で450票増やすなど林候補との差を前回より8,832票縮めることができましたが、小選挙区で落選。悪天候にたたられ、投票率が47.99%で千葉県内13選挙区のなかで最低となったことが残念でした。南関東ブロック(千葉、神奈川、山梨) 比例区での当選に望みをかけましたが、左下の表のように次点となりました。

### 比例区南関東ブロック 希望の党 (獲得議席数 4人)

	名簿登載者	小選挙区	惨敗率
当	田嶋 要	千葉1区	98.3%
当	本村 賢太郎	神奈川14区	89.0%
当	後藤 祐一	神奈川16区	86.9%
当	奥野 総一郎	千葉9区	82.8%
次点	谷田川 元	千葉10区	73.8%
	太田 和美	千葉8区	71.3%
	神山 洋介	神奈川17区	71.2%

相模原市長選出馬のため  
3/7に辞職

↑  
繰り上げ当選

そして、本年3月2日に本村賢太郎氏が相模原市長選挙立候補のため、辞職願を提出し、7日の本会議でそれが許可されました。これを受け13日に衆院比例南関東ブロック選挙会が開かれ、谷田川元の繰り上げ当選が決定されました。選挙当時の「希望の党」は今は解党して存在しませんが、その場合でも選挙当時の比例名簿は有効のことです。

## 谷田川はじめの政治力により銚子市の要望が実現

# 地域おこし協力隊の費用を国が助成

昨年8月17日に**谷田川はじめ**が銚子市役所を訪問した際、越川市長より地域おこし協力隊に関する要望を受けました。

地域おこし協力隊とは、都市部の若者らが、地方自治体の募集に応じて委嘱を受け、国から生活費などの支援を受けながら、おおむね1年以上3年以下の期間、地方に移り住み、住民の生活支援や地域の活性化などに取り組む活動です。同隊員は地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの活動を行なながら、その地域へ定住・定着を図ることが期待されます。

しかしながら、同隊員派遣の費用の国庫助成は、千葉県が三大都市圏にあるという理由で、銚子市は認められていませんでした。しかし三大都市圏であっても過疎地域、半島に位置する所は認められているので、銚子市のように過疎地域にならないよう頑張っている市町村をしっかり国として応援すべきだと**谷田川はじめ**が総務省の担当者に強く要請しました。その結果、今年度(平成31年度)から、三大都市圏であっても、2005年から2015年の人口減少率が11%以上である市町村も国庫助成が認められることになり、銚子市のみならず、匝瑳市、香取市、多古町も国庫助成対象の自治体に加わりました。これにより、隊員1人あたり400万円を上限に国からの助成が受けられます。



越川市長に要望が実現したことを報告する谷田川はじめ（1月22日）



地域おこし協力隊の助成措置が銚子市に適用される旨記された総務省の書類を手にツーショット（1月22日）

## 12月のチラシ

# 野党の役割は、与党が拾わぬ民の声をすくい上げること

平成30年も間もなく幕を閉じようとしています。皆様にとってこの1年はどのような年だったでしょうか？恒例の世相を表す漢字一字が「災」と発表されました。2月に北陸の豪雪、6月に大阪北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道地震や台風21号が発生するなど災害が相次いだことが、「災」が選ばれた理由と思われます。一方、政治の世界においても将来に大きな「災」をもたらすような出来事が多かったと言わざるを得ません。

通常国会が終わった直後の7月31日、大島衆議院議長が異例の所感を発表しました。その中で、大島議長は「(1) 財務省の森友問題をめぐる決裁文書の改ざん問題や(2) 厚労省による裁量労働制に関する不適切なデータの掲示、(3) 防衛省の海上自衛隊の海外派遣隊の日報に関するずさんな文書管理などの一連の事件はすべて、法律の制定や行政監視における立法府の判断を誤らせる恐れがあるものであり、立法府、行政府相互の緊張関係の上に成り立っている議院内閣制の基本的な前提を揺るがすもの」と述べ、3省を名指しし強く非難するとともに、行政府に猛省を促しました。

にもかかわらず臨時国会では、入管法改正案をめぐり、失踪した外国人技能実習生の実態調査結果の集計を法務省が誤っていたことが明らかになり、議長所感が無視された形となりました。

入管法改正案では外国人労働者の受け入れ数や対象業種などを法案成立後に定めるとしており、野党の質問に対しても「検討中」と繰り返すなど政府が政省令で勝手に決めさせてもらうとの態度がありありでした。そして同法案が衆院を11月27日に通過しました。こうした状況に業を煮やした大島議長は、与野党国対委員長を呼び、またも異例の発言をしました。来年4月の同法施行前に政省令を含めた法制の全体像を政府に報告させたうえで法務委員会で質疑するよう求めたのです。事実上の議長による「裁定」です。

このように、今年は将来の「災」となるような政府・与党の暴走を許してしまいました。その一番の理由は野党が非力だからと言わざるを得ません。

米国政治学の泰斗と言われたロバート・ダール イエール大学名誉教授(2014年に98歳で死去)は『「野党」は「選挙権」「議会制」と並ぶ民主主義の三大発明であり、与党が拾わぬ民の声をすくい上げる「野党」という機能は民主主義に欠かせない』と述べています。

そう考えると、先の臨時国会における外国人受け入れ拡大を目指す入管法改正案は、野党の側からもっと早い段階で提案すべきだったと言わざるを得ません。少なくとも人手不足が深刻であることは3年以上前から分かっていたことです。しかし、安倍総理は移民政策を取らないと言ってきた経緯があり、その声をぎりぎりまで吸い上げようとしました。

与党が拾わぬ民の声をしっかりとすくい上げることを肝に銘じ、今後の活動を展開していく所存です。

## 1月のチラシ

# 政治改革は成功したか？ 恣意的な衆院解散を封じることが必要

あと 3 ヶ月余りで「平成」の時代が幕を閉じます。思えば、平成がスタートしたのが 1989 年。前年に発覚したリクルート事件（リクルート社が有力政治家や官僚に子会社の株式を譲渡し、多額の利益をもたらした事件）が政界を震撼させ、政治改革が声高に叫ばれました。事件が起きた大きな要因は政治に金がかかりすぎるからであり、また当時の野党第一党の社会党が「万年野党」と称されたように、政権交代の不在と「緊張感の喪失が」日本政治の欠陥であるとみなされました。

そして、数々の議論を経て、平成 6 年に政治改革関連法が成立。衆議院に小選挙区・比例代表並立制が導入され、また政党に対して、国民 1 人あたり 250 円 年間 300 億円を超える公金が国政選挙での得票数と議席数に応じて助成される制度ができました。

その結果、政権交代が起き、自民党一党支配の 55 年体制は崩れました。そして政党助成金により、政治家が無理をして金を集めることもなくなり、リクルート事件やロッキード事件に匹敵するような汚職事件は起きていません。その意味で、政治改革はある程度の成功をおさめたと言えるかもしれません。しかし、目指したはずの「二大政党」は今や幻となった感があります。「安倍 1 強」という表現に象徴されるように、首相官邸への権力集中はすさまじく、国権の最高機関であるはずの国会が、今や官邸の下請け機関と揶揄されるまでになってしまいました。

「安倍 1 強」をもたらした一番大きな要因は、国政選挙で安倍自民党が 5 戰全勝したことに尽きます。特に過去 2 回の衆院選挙は、野党の選挙準備が整う前の不意打ちの解散でした。与党が有利な時に恣意的に解散したと断言できます。解散は「総理の専権事項」とよく言われますが、日本国憲法にはそのような明確な規定はありません。新憲法下で最初に行われた総選挙では、GHQ が衆議院の解散は内閣不信任案が可決された時しか認められないと主張したため、与野党の話し合いで吉田内閣の内閣不信任案を可決させたうえで、衆議院を解散したので、「なれあい解散」と言われています。その総選挙の 3 年 7 か月後に、野党の選挙準備が整っていない状況で突然に解散を断行したため、「抜き打ち解散」と言われ、違憲訴訟にまで至りました。原告が一審で勝訴したものの、二審で逆転敗訴。最終的に最高裁判決で、いわゆる統治行為論で、総理の衆議院解散は違憲ではないと判断されたため、今日に至っています。

しかし、都道府県知事や市町村長の選挙は、首長が自分の有利な時に勝手に選挙期日を決めるることはできません。1999 年に成立した地方分権一括法で、国と地方が対等関係となった今日において、総理大臣の解散のフリーハンドを与えることは無理があるのではないか。また議員内閣制のお手本と言われる英國においても、5 年前に任期固定法が制定されて、首相が勝手に解散できなくなっています。わが国においても総理の解散権を制限する立法措置を検討すべきです。

# 定期的に早朝の駅頭活動

谷田川はじめは、成田駅西口、公津の杜駅、京成成田駅、佐原駅で毎月早朝の駅頭活動を続けています。その他の駅は、ローテーションを組んで行っています。

自分の主張や活動等を A4 版の紙に印刷して、毎回内容を変えて配布しています。駅で谷田川はじめの姿を見たら、是非声をかけて下さい。

今回は 12 月と 1 月に配布したチラシを 4 ページと 5 ページに掲載しました。



成田駅西口 (12/20)  
5時45分～8時45分



公津の杜駅 (12/21)  
5時45分～8時45分



佐原駅 (1/24)  
6時10分～8時10分



京成成田駅 (2/4)  
6時00分～8時30分



旭駅 (2/5)  
6時10分～8時10分

**党員・サポーターとなって、私たちと一緒に活動をしてみませんか?**

国民  
民主党

こく  
みん

## 国民民主党に参加してください!

### 党員とは?

◆党員 党費4,000円  
◆サポーター 会費2,000円

- 国民民主党の基本理念と政策に賛同する日本国民で18歳以上の方なら誰でもなれます。
- 党員は、それぞれの地域にある国民民主党の総支部に所属します。

<総支部>とは、衆議院、参議院の各議員、または公認候補者などを代表者とする国民民主党の地方組織です。

○党費は年間4,000円です、資格期間は1年。

○党員は、国民民主党の運営や活動、政策づくりに参画でき、党代表選挙で投票することができます。

### サポーターとは?

- 国民民主党を応援したい18歳以上の方なら、どなたでもサポーターになれます。
- 会費は年間2,000円で資格期間は1年。
- サポーターになると、党代表選挙で投票できるほか、党で主催する講演会や勉強会、イベント、選挙ボランティアに参加することができます。

●ただいま登録受付中! お申込みは

**国民民主党千葉県第10区総支部へ**

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2  
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991





匝瑳・光 後援会役員の皆さんとの忘年会に出席（12/21）



龍福寺への元朝参り（1/1）



自治労千葉県支部  
新春旗開きで挨拶（1/5）



千葉県電力総連  
新年の集いで挨拶（1/7）



実弟の谷田川みつたけ県議を激励する会で挨拶（1/20）



連合千葉 成田・佐倉地協  
新春の集いで挨拶（1/25）



連合千葉 東総・香取地協  
新春の集いで挨拶（1/27）



東大社の節分祭に参加（2/3）



谷田川みつたけ県議の  
事務所開きで挨拶（2/24）



鎌倉 金 銚子市議の市政報告会に野田前総理とともに出席（3/2）



全日本プロレス銚子大会にて竹本銚子電鉄  
社長（左）とともにリングに上がり、開幕  
の号令をかける（3/9）

## ポスター掲示 ご協力のお願い

今夏には参議院選挙が実施されます。千葉県選挙区からは松下政経塾で谷田川はじめの先輩である長浜ひろゆき氏が三選を目指し、立候補します。そこで、同氏の認知度をあげるために右のポスターを作成しました。是非、ご自宅の壁や塀等に貼らせて頂きたくご協力をお願いします。



## ○後援会ニュース「雄志」 定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。あなたのご意見を反映します。

**年会費一口2,000円(何口でも可)**

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

## 【谷田川はじめの略歴】

1963年1月17日香取市生まれ

- ・千葉県立佐原高校卒業
- ・早稲田大学政治経済学部卒業
- ・千葉県議会議員4期連続当選
- ・衆議院議員2期当選・松下政経塾出身

冠婚葬祭等の情報がありましたら、  
谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。

## 国会見学のお知らせ

谷田川はじめ事務所では、随時国会見学を受け付けております。事務所スタッフがご案内致します。お子様からご年配者まで大歓迎! 詳しくは国会事務所までご連絡下さい。



<問合せ先>

国会事務所

電話 03-3508-7292

担当: 森

**千葉県第10区在住のお知り合いの方を是非ご紹介下さい。**



ご連絡お待ちしています

**TEL 0478-54-5678**

**FAX 0478-52-6991**